

第5回 がんばっています!!

市内の団体や個人を紹介します。

村上悠さん（27）（陸前高田市出身／気仙町在住）は昨年12月にオープンした陸前高田発酵パークCAMOCY（カモシー）内のパン屋『MAaLo』（マール）に勤めています。カモシーは「発酵」をテーマとした商業施設で、9つの地元事業者が揃い、季節に応じて店舗間共同イベント（2月にはバレンタインフェアを実施）を行うことも。原材料をつくる農家などとも新企画に向けてさまざまな相談を行っています。（担当・木村聡、伊勢純）

陸前高田発酵パークCAMOCY内 パン屋『MAaLo』

盛岡の専門学校を卒業後、大船渡の菓子工房に勤めていましたが、市内にパン屋さんができるということでオープニングスタッフに応募しました。同じ20代のメンバー3人で千葉県の人気店で実地研修を2カ月行い、「本場」に触れられたのはとてもいい経験でした。MAaLoでは対面販売でお客様とお話すること、焼き立てパンを



村上 悠さん

販売すること（毎週土日）の2つに特にこだわっています。パンは生きていて、同じレシピでも気温や湿度で全く違うものになるので難しいですが、それが面白い。原材料を知ればもっとおいしさを伝えられるので、今後は農家さんたちとの企画、商品開発にも力を入れ頑張ります。カモシーは若い方が多く勤めているので、みなでまちづくりにも貢献していきたいです。



同	同	同	同	同	委員	副委員長	小委員長
佐々木	伊勢	伊藤	大和田	松田	木村	蒲生	鵜浦
一	勇	加代子	修	聡	哲	昌	也
義	純						

編集委員

お知らせ

令和3年第1回定例会より市議会に上程される議案をホームページに掲載しています。掲載日時は、定例会開会日の午前8時30分です。
また、これまで傍聴受付の際に議案を配布しておりましたが、今後配布はいたしませんのでご理解の程よろしくお願いします。
なお、会議当日は貸出用の議案を用意します。

あとがき

震災後10年が経過し、国が復興の総仕上げと位置付ける第1期復興・創生期間の最終年度を迎えた本号の表紙には、その象徴の一つとも言える高田松原津波復興祈念公園付近の写真を掲載しました。

今定例会では、一般質問に11人が登壇し、市政課題の解決に向けた議論がなされ、殊に予算等特別委員会では、第2期復興・創生期間初年度となる令和3年度一般会計予算案等について活発な議論が交わされました。これまで復旧・復興事業に並び、一時は1200億円超を計上しましたが、令和3年度は183億円余と約7分の1の規模になりました。この10年の歩みを顧みるにつけ、悲喜こもも至るものがあります。

今後も市民の皆さんが読みやすい議会だよりの編集に努めてまいりますので、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。（担当・松田修一）